

小路疱瘡踊り



寛政2年（1790年江戸後期）地域一円に天然痘（疱瘡）が流行し、この病を防ぎたいという思いでできた踊りで少なくとも200年以上の歴史を持つ踊りである。

現代は種痘の普及によって、天然痘から解放されたため、お祝い等の際に踊られている。

【奉納・披露】

日程：11月または3月に開催される文化祭

場所：入来文化ホール